

題材 「 もっと速く走れ私の車 」 ○○時間中の第○時

(1) 学習のねらい

目に見えない風の力って面白いな、と感じている子供達が、風の力で動くものに出会い、自分なりに風の力で動く車について考えることを通して、より多くの風を受ける方法に気づき、楽しみ、親しみながら風の力で動く車を設計、作ることができる。

(2) 本時の学習材

風の力で動くもの

- 目に見えない風というものを考え、風で動くものは他に何があるのかな、と考えるであろう。ここで、風で動くもののイメージをつかむことは非常に重要であり、その意識を捉えたところでこの学習材を提示する。
- 本学習材は、風を受けて運動エネルギーに変化させているものであり、この学習材に出会った子供達は、自分の中にもつ、風を活用するものというもののイメージをさらに確かなものにすると同時に、自分の車を作る手がかりとなるものを見つけることができるだろう。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 身の回りの風を感じる事象を考える。	・洗濯物や葉っぱが揺れる。 ・ヨットが進む。 ○傘が飛ばされそうになる。	5	○身の回りで風の力を感じたことや、風で動くものの様子を見たことがあるかな？ ・子供達からあげられた出来事を板書していく。
	2 風で走る車などを見て、風で進む事物を親しみ、風で進む車の手がかりとする。	・すごい。 ○私もこんなもの作ってみたい。 学習問題 どのようにすると、より多くの風の力を受けることができるかな。	20	学習材 風の力で動くもの ○では実際に風で動くものを見てみよう。（モニターで映し出す。）（NHK for school）
	学習課題 風の力で動く車を作ってみたい。 3 風の力で進む車を考えてみる。（設計図）	・どうやったら進むかな。 ・切って貼ってするのに何が必要かな。 ・うちわや扇風機を用いたり、帆を大きくするといいね。	15	○自分の作りたい車を考えてみよう。（作品の土台を提示する。） ・何が必要かな、必要なものは書き出しておこう。
展開	4 まとめ、片付け	・次の時間に何を準備すればいいかな。 ・早く作り出したいな。	5	○次の時間に必要なもの等を確認しておくに加えて、子供達の進捗状況を把握し、次時の見通しを立てておく。
終末				評価 自分の作りたい作品をイメージし、それに近づけるように考えて試行錯誤できる。